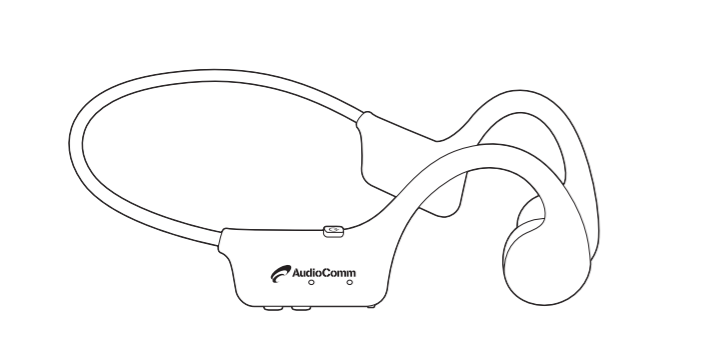


取扱説明書

骨伝導イヤホン

型番：HP-BC110N 品番：03-1666



このたびは、AudioComm®骨伝導イヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

使い始める前に	本製品には、以下のものが含まれています。 <p>お使いの前に必ず内容をお確かめください。</p> <ul style="list-style-type: none">骨伝導イヤホン本体 ・ 専用充電コード ・ 耳栓(2個) 保証書 ・ 取扱説明書(本書)
----------------	--

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池：イヤホン及び充電ケースに内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

	絵表示について
	この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。
⚠	危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠	警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠	注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。
	絵表示の使用例
⚡	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。
🚫	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
🔌	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠	危険
🚫	接触禁止
🔌	充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない <ul style="list-style-type: none">●本機には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 ●万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。 ●液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

⚠	警告
🚫	禁止
🚫	運転中は本機及び携帯電話を使用しない。運転中に携帯電話の画面を注視しない <ul style="list-style-type: none">●必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。 ●歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようご注意ください。
🚫	航空機内や医療機器の近くで使わない <ul style="list-style-type: none">●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
🔌	付属の充電コード以外では充電しない <ul style="list-style-type: none">●火災や感電、機器の故障の原因となります。
🔥	火の中に入れない <ul style="list-style-type: none">●本機には充電式電池が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。
🚫	自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない <ul style="list-style-type: none">●高温になると、危険を防止するためリチウムポリマー電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
🔌	本機や充電コードの上に重いものをのせない <ul style="list-style-type: none">●本機の破損・故障や、コードが傷ついて火災・感電の原因となります。
🔥	本機や充電コードを傷ついたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない <ul style="list-style-type: none">●コードが破損して火災・感電の原因となります。
🔧	分解、修理、改造しない <ul style="list-style-type: none">●火災・感電の原因となります。
⚠	22cm以上離す
🚫	接触禁止
🚫	雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない <ul style="list-style-type: none">●感電するおそれがあります。
🚫	使用禁止
🚫	万一、煙が出ている、変なにおいや音があるなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する <ul style="list-style-type: none">●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
🚫	万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する <ul style="list-style-type: none">●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

⚠	注意
🚫	禁止 <ul style="list-style-type: none">シャワーや水を直接かけない。水中につけない ●本機の防水保護等級は防まつ形です。完全な防水仕様ではありません。 ●ご使用前に、USBポートのカバーが閉まっていることを必ず確認してください。密閉されていない場合、水が浸入します。 ●水がかかると充電ししないでください。
🚫	ぬれた手で操作しない <ul style="list-style-type: none">●故障や感電の原因となることがあります。
🚫	暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない <ul style="list-style-type: none">●破損・故障の原因となります。
🚫	振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台上、傾いた場所など、不安定な所に置かない <ul style="list-style-type: none">●落下してけがをする可能性があります。また、本機の破損・故障の原因となります。
🚫	本機をシンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない <ul style="list-style-type: none">●変形・変色の原因となります。
👜	ズボンなどのポケットに本機を入れたり、かばんの中に入れたままにしない <ul style="list-style-type: none">●気づかずに椅子などに座ったり、かばんに力加わるなどして変形や破損、故障の原因となることがあります。
🚫	磁気カードや腕時計などを近づけない <ul style="list-style-type: none">●磁気の影響により、記録内容の消失や故障の原因となることがあります。
🔌	充電コードを熱器具に近づけない <ul style="list-style-type: none">●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
🚫	自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない <ul style="list-style-type: none">●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
🔌	充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない <ul style="list-style-type: none">●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグ部を持って抜いてください。
🌐	日本国以外では使用しない <ul style="list-style-type: none">●本機は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。
⚠	小さなお子様の手の届かないところに保管する <ul style="list-style-type: none">●誤って操作したり、破損させたりしないよう十分にご注意ください。
🔊	大音量で聴き続けけない <ul style="list-style-type: none">●音量を上げすぎないでください。本機は音漏れしますので周囲の迷惑にならないよう、十分にご注意ください。電車やバスなどのご使用は避けてください。


主な仕様

電 源	DC5V 170mA(USB-C給電)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 180mAh)
型 式	骨伝導
インピーダンス/感度	8Ω / 103dB
通 信 方 式	Bluetooth標準規格 Ver.5.3
対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP、AVDTP
対応コーデック	SBC、AAC
変調方式/周波数帯域	GFSK / 2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
最大登録可能台数	8台
マルチポイント	同時待受 最大2台
再生周波数帯域	100Hz～15kHz(A2DP)
マイク指向特性/感度	全指向性 / -38dB
充 電 時 間	約1.5時間(残量ゼロからフル充電まで)
連続使用可能時間	約9時間(50%音量)
許容動作温度/湿度	温度：0～40℃ 湿度：20～80%(結露なしにて)
防 水 性 能	IPX4(防まつ形)いかなる方向からの水に飛まつによっても有害な影響を受けない
外 形 寸 法	幅 113.8×高さ45.5×奥行 145.5mm
質 量	約29g
付 属 品	専用充電コード、耳栓(2個)、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、連続使用可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。※本書で使用している図版は実際の製品と一部異なる場合があります。

Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

【バージョンとプロファイル】 本機は、Bluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：HSP、HFP、A2DP、AVRCP、AVDTP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。【通信可能範囲】 本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。【セキュリティ】 本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。【機器認定について】 本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本機は日本国内でのみ使用できます。【使用周波数と注意事項】 本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

- ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
- 医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
- 無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
- その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
- 植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

防水保護等級について

本製品はJIS C0920:2003(IEC 60529：2001)による水の浸入に対する保護等級「IPX4」(防まつ形：いかなる方向からの水に飛まつによっても有害な影響を受けない)仕様となります。小雨の野外、水の飛まつがかかる場所でご使用いただけますが、以下の点に十分ご注意ください。

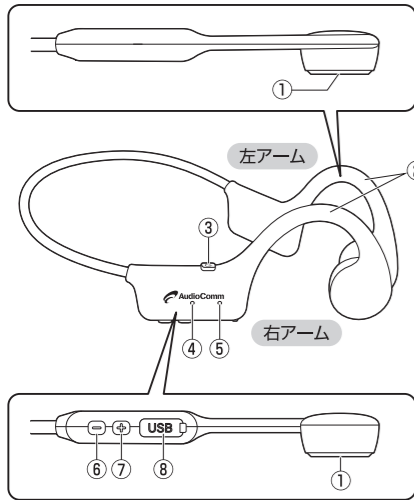
- 水がかかると場所や湿気の多い場所で使用するとき、必ずUSBポートのカバーをしっかりと閉めてください(充電ししないでください)。
- シャワーやお湯を直接かけたり、水中につけないでください(完全防水設計ではありません)。
- 石けんの泡やオイルのついた手でさわらないでください(水分が浸入する可能性があります)。
- ドライヤーで乾かさしないでください(密閉部が変形する可能性があります)。
- 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。

お手入れのしかた

必ず事前に電源を切ってください。

- 表面が汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

各部の名称

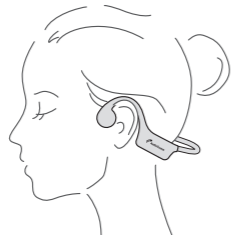
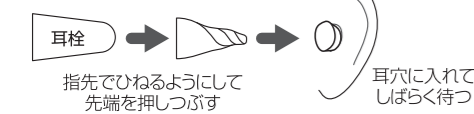


- ①骨伝導イヤホン
- ②イヤーフック
- ③マルチファンクションボタン
- ④通話マイク
- ⑤インジケータ
- ⑥音量/スキップボタン(-)
- ⑦音量/スキップボタン(+)
- ⑧USBポート

装着方法

イヤーフックを両耳にかけ、骨伝導イヤホンを耳の前部分に当てて装着してください。

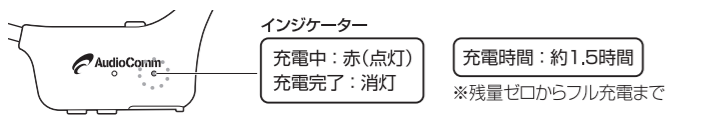
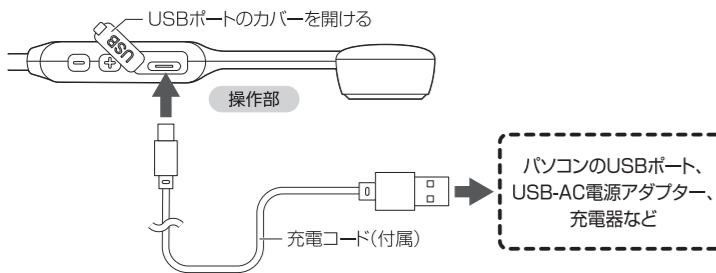
本製品には、耳栓が付属しています。周囲の音が気になるときは、必要に応じてお使いください。



充電のしかた

USBポートのカバーを開け、付属の充電コードで図のように接続します。

●充電が始まるとインジケータが赤く点灯し、完了すると消灯します。



ポイント

- はじめて使うときは、十分に充電する(充電中に使うことはできません)。
- 充電には必ず付属の充電コードを使う。また、付属の充電コードを他の製品に使わない。
- 電源供給ができるUSBポートに直接接続する(USBハブなどを介すると正常に充電されません)。
- パソコンの省電力モード設定(スリープ設定など)を解除する。
- 家庭用コンセントで充電するときはUSB-AC電源アダプター(別売)を使う。

ご注意

- 許容動作環境(温度：0℃～40℃、湿度：20～80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していても、インジケータが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなる場合があります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源のオン/オフ



電源オン

マルチファンクションボタンを約3秒間長押しします。

- 電子音が流れて電源が入ります。
- はじめて使うときなど、Bluetooth接続していないときは、インジケータ(赤/青)が交互点滅します(サーチモード)。「ペアリングのしかた」を参照してペアリングしてください。

電源オフ

電源が入っているときにマルチファンクションボタンを約3秒間長押しします。

- 電子音が流れて、電源が切れます。インジケータも消灯します。

ペアリングのしかた

ペアリングとは、本機とBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンなど)を相互に初期登録する操作のことです。

はじめての機器と接続するときは、必ずペアリングしてください。

- 1 本機及び相手側機器を手元に用意し、それぞれの電源を入れます。
 - 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
 - 相手側機器→本機の順で電源を入れ、本機がサーチモード(インジケータが赤/青の交互点滅：接続可能な機器を探している状態)になっていることをご確認ください。

- 2 相手側機器のBluetooth設定画面で本機を登録します。



本機を登録する

相手側機器のBluetooth設定画面で本機の名称「HP-BC110N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。
※機器によってはご自身で設定したパスワードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると…

電子音が鳴って本機を使用できる状態になります(インジケータは約5秒ごとに1回青く点灯します)。相手側機器で再生などを操作をしてください。機器や使用アプリによっては本機のマルチファンクションボタンで再生を始められる場合もあります。

ご注意

- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：HSP、HFP、A2DP、AVRCP、AVDTP)に対応しています。相手側機器によりプロファイルの選択が必要な場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 本機または相手側機器が別の機器と接続中は、ペアリングできません。既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。
- サーチモードのまま約5分経つと、本機の電源が切れます。必要に応じてもう一度最初からやり直してください。
- ペアリング完了後、Bluetooth接続中は、無動作状態(音楽などを聴いていない状態)が続いた場合でも自動的に電源は切れません。そのままかばんなどにしまうと、電池を消耗するだけでなく、電話着信などに気づかないことがありますので、必ず本機の電源を切ってください。
- 使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れていないか、本機または相手側機器の電池残量が減少していないかを確認してください。その後、本機及び相手側機器の電源を入れ直し、それでも改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、ペアリングし直してください。

音楽を聴くときの操作

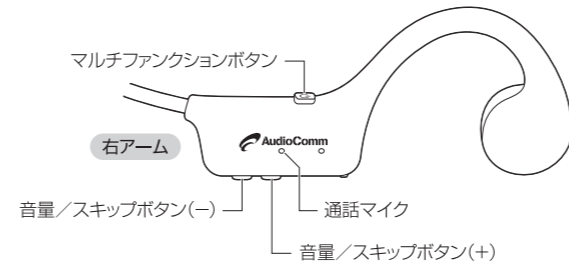


ボタン	短く押す	長押し
マルチファンクションボタン	再生↔一時停止	音声アシスタントを起動(約2秒間)電源オフ(約3秒間)
音量/スキップボタン(+)	音量を上げる	次の曲を再生
音量/スキップボタン(-)	音量を下げる	曲の先頭に戻って再生。直後にもう一度長押しすると、1つ前の曲を再生

ヒントとご注意

- 音量調節時、最大音量に達すると電子音が鳴ります。
- 接続先の機器や使用アプリによっては、動作のしかたが異なっていたり、ボタンを操作しても機能しないことがあります。
- 電池残量が少なくなると、インジケータ(赤)が点滅し、間隔を置いて電子音が数回流れます。その後しばらくすると電源が切れますので、早めに充電してください。
- 音声アシスタントを使うときは、マルチファンクションボタン長押し時に電子音が聞こえたら指を離してください。
- 音声アシスタントは、相手側機器の機種により、音楽再生中は起動しないなど、動作が異なる場合があります。また、機種によっては、タップ操作をしなくても、呼び出しキーワードにより起動できる場合があります。

通話に関する操作



動作	操作方法
電話に出る	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを押す
電話を切る	通話中にマルチファンクションボタンを押す
音量を上げる	音量/スキップボタン(+を押す
音量を下げる	音量/スキップボタン(-)を押す
着信拒否	着信音が鳴っているときにマルチファンクションボタンを2秒間長押しする
リダイヤル	マルチファンクションボタンを素早く2回連続して押す

※上記は一例です。機器や使用アプリによっては、動作のしかたが異なっていたり、ボタンを押しても機能しないことがあります。その場合はスマートフォン側で操作してください。
※リダイヤルは、直近の発信先または着信元となります。

ご注意

- 通話マイクを指先や衣服などでふさがないようにご注意ください。
- お使いの機種によっては、スマートフォン側で着信音や通話音声の出力設定が必要な場合があります。本機にて音声を楽しみたい場合は、各機器付属の取扱説明書などを参照し、本機を選択してください。
- スマートフォンの機種や設定によっては、着信音の本機から1回だけ聴こえたり、その後はスマートフォン側から通常の着信音出力される場合があります。

マルチポイント機能を使う

2台のスマートフォンを同時に待ち受けることができます。以下の手順で設定してください。

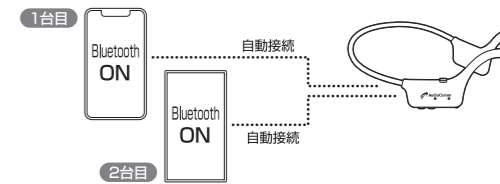
- 1 1台目のスマートフォンと本機をペアリングします。その後、スマートフォンのBluetooth機能をOFFにします。



- 2 2台目のスマートフォンのBluetooth機能をONにして、本機とペアリングします。その後、2台目のスマートフォンのBluetooth機能もOFFにします。



- 3 本機がサーチモードになっている状態で2台のスマートフォンのBluetooth機能を順にONにします。
 - 2台のスマートフォンに自動接続されない場合は、スマートフォンに表示される本機名をタップして手動で接続してください。



ヒントとご注意

- どちらかのスマートフォンに着信(呼び出し)があったときは、マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
- 着信応答などの操作は、スマートフォンの機種などにより異なる場合があります。
- 使用環境によっては、接続が不安定になることがあります。
- マルチポイント機能が使えするのはスマートフォンのみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- 本機と接続した2台のスマートフォンを3者間通話などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのスマートフォンでの動作を保証するものではありません。

故障かなと思ったら

- 充電できない
 - ・本機とパソコンが正しく接続されていますか。
 - ・付属品ではない充電コードを使用していないですか。
 - ・USBハブなどを経由して接続していませんか。
 - ・パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。

- 電源が入らない
 - ・電池残量が減っていませんか。
 - ・マルチファンクションボタンを長押ししましたか(短く押ししていませんか)。

- ペアリングができない
 - ・相手側機器の電源は入っていますか。
 - ・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
 - ・相手側機器が他の機器と接続していませんか。
 - ・相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。

- 音が出ない。音声途切れたり、ノイズやエコー音がある
 - ・正しくBluetooth接続されていますか。
 - ・本機または相手側機器の音量が最小になっていませんか。
 - ・相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
 - ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

- 2回目以降使用時に、Bluetooth接続ができない

- ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
- ・相手側機器が他の機器と接続していませんか。
- ・相手側機器がスリープ状態になっていませんか。
- ・相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。

- スマートフォンに着信があっても、本機が応答しない
 - ・本機との接続が解除されていませんか。
 - ・スマートフォンがサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。
 - ・一部のスマートフォンでは、Bluetooth使用に際して切替操作が必要なものがあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。